

第4回登別市立図書館整備検討委員会 議事録要旨

- 日 時：令和6年12月11日（水）午後6時30分～午後8時00分
- 場 所：登別市市民会館 中ホール
- 出席状況：委員 15名（欠席） 2名
行政 7名 教育部部長
教育部参与
教育部次長
教育部図書館長
教育部図書館主査
教育部図書館主任
総務部企画調整グループ総括主幹
傍聴 5名

1 開会

- (1) 本日の流れについて説明（委員長）
 - ア 登別市立図書館が考える図書館について
 - イ 登別市立図書館の現状について
 - ウ これからの協議について
 - a 図書館整備検討委員会の最終ゴールと今回の協議テーマ
 - b 次回会議について

2 事務局からの説明事項

- (1) はじめに（図書館長）
 - ア 11月下旬の会議を延期したことに対してお詫び申し上げ、本日の会議を改めて第4回目とさせていただきたい。
 - イ 前回会議で、登別の図書館をどのようなものにしていくか意志統一を図るため勉強する日を設けても良いのではと委員よりご提案があり、本日、次の二点について説明させていただく。
- (2) 登別市立図書館が考える図書館について（図書館主査）
 - 「登別市立図書館のめざすもの」に沿って説明（以下「めざすもの」と記載）
 - ア 策定の根拠は、平成24年に文科省の「これからの図書館の在り方検討協力者会議」が、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準の見直し」の中で、「それぞれの図書館がめざす使命や目的を定め、公表する必要がある」と経営方針の策定と公表が明記された。またそれとは別に、当時図書館長として「めざすもの」を作成したいと思っており、平成29年度に策定を行った。
 - イ 策定の経過は、平成29年度の図書館協議会、平成29年11月の図書館での市民懇談会、議会や総務教育委員会への情報提供、市民意見公募（パブリック

- コメント)を経て、平成30年2月に教育委員会の議決承認を経たものである。
- ウ この理念の策定に当たっては、関連法、ユネスコ公共図書館宣言などの理念や精神を根拠にできるだけ優しい平易な言葉で短くまとめることに留意した。
- エ 「めざすもの」の五項目ごとの説明
- a 「登別市立図書館は一人ひとりを大切にします」
- ・図書館サービスは、一人一人に対する個別なものであるとされている。これを前提に多様な利用者への適切なサービスを行うことを明記した。
 - ・この中にはプライバシーの保護や市内全域サービス、年齢や障がいの有無などを包含したいわゆる読書バリアフリーも含んでいる。
 - ・これに基づいた取組として、いつでもどこでもということ、現在図書館では児童館や幼稚園・保育所・子育て支援センター・児童クラブ・病院保育所などに毎月の本の搬送をしている。また、電子図書館「デジタル分館」などの取組に努めてきた。
- b 「一人ひとりの生き方を応援します」
- ・近年図書館で強く言われている市民の課題解決に資する図書館であるということであり、多額の寄付により図書館本館3階に参考資料室を整備し、こうした環境を整備してきたものである。
- c 「市民と共につくります」
- ・市民に出番を創出・提供する。市民の善意を図書館活動に提供していただき、また、知識や技術・経験を有する市民の方々に講座や展示などを企画していただくということで、登別市立図書館では、これまでも多くの講座等が市民の提案によるものであったり、本の修理やホームページの製作、郷土資料のデジタル化作業、図書館通信への寄稿や市内の児童に移動図書館車の車体に絵を描いていただいた他、貴重な資料の寄贈や図書費の寄附など多くの方々のご支援をいただいている。
- d 「登別を未来に残します」
- ・郷土資料の収集と提供であり、2019年から3年間「アイヌ文献収集事業」を行っており、特に古い絶版になったアイヌ文献を古書店から購入した。また、市史編纂に関する資料を保存したり、「登別学」として登別温泉の歴史や登別の地形などの講座の開催、図書館本館2階に登別市の郷土人コーナーの開設などを行った。
- e 「気持ちを休める場を提供します」
- ・全ての市民に居場所を提供するという一方で、図書館には「場としての力」があると言われ、市民一人一人が気持ちを休める場、心を癒やすことのできる場、そういった空間と時間を提供するとともに、市民が集い交流する場としての図書館を目指す。これは図書館の持つ大きな役割でもあり、こうしたことを含めて「豊かな時間を図書館で」というキャッチフレーズを掲げてきており、これは近年言われる「サードプレイス」というものに繋がるのではないかと思う。

(3) 登別市立図書館の現状について（図書館長）

会議資料の写真に沿って説明

ア 図書館の現状について説明

- a 狭隘さ（本の保管場所、読み聞かせ場所、カウンター周辺、読書スペース、学習スペース、飲食スペース等）
- b 雨漏り、壁のヒビ等の状況
- c 構造の問題（吹き抜けのため音が筒抜け状態）
- d 冬場の寒さ対策（トイレ）

イ 実際の図書館の様子をご覧いただけるよう、12月14日午後2時から図書館ツアー（本館・分館）を行うので都合のよい方は参加願いたい。

(4) これからの協議について（図書館長）

ア 本検討委員会の最終ゴールは、「図書館整備基本構想」の策定にあたって、図書館の施設を整備するための必要事項について、検討委員会としての意見をまとめることである。

イ 施設整備の必要事項、例えば機能やサービスなど、「市民がどのような図書館を必要としているのか」などについて、委員の皆さんの意見を反映し具体的なことを盛り込んでまとめていただきたいと考えている。このための協議の場も設けたいと思う。

ウ この基本構想を策定するためには、実現性をもった上で、「図書館を何処に、どのように整備するか」という方向性を決める必要があると考えているため、今回から次回については、先程説明した「めざすもの」を実現するため、図書館本館を「新築できる時期が来るまで現施設維持」するのか「どこか別の場所に移転」するのかに絞って協議していただきたいと考えている。

エ 次回会議は、前回会議での提案を参考に委員の皆様による「フリーディスカッション」としてはいかがか。なお、日程は会場の都合上12月26日（木）でご提案したい。

(5) 委員からの要望（下線部が市側の回答）

ア 前回の委員会で、この会議の議事録は図書館のホームページに掲載されているという説明であったが、見つけるのが大変である。インターネットを使用していない委員は、入手困難だと思う。委員の皆様は、真剣に熱意ある責任を持った発言をなさっていると思う。それぞれの意見等は正確に記載して、会議の内容を振り返り次の会議に備えるためにも、意見ごとに発言者の氏名を記載することを要望したい。第2回目の議事録は見つけられなかったため、その辺もう少し配慮願いたい。

→（教育部局）第1回目の会議で、議事録は概要版にて公開するとお話ししたので、今後も概要版で掲載したいと考えている。第2回目の議事録までは公開し、第3回目も間もなく公開する。図書館ホームページのトップページにリンクを貼っているが、要望であれば印刷して配布することも可能かと思う。

→(委員) 委員全員に配布するという事か。

→(教育部局) 要望に応じて、インターネット環境がなく希望する委員に配布しようと思う。

→(委員) 会議ごとの配布は行わないのか。

→(教育部局) ペーパーレスということもあり、希望者のみに配布と考えているが、全員配布の方がよろしいか。

→(委員) それが親切かと思う。もう一点、意見・質問ごとに正確な表示をし、誰が発言したか分かるように記載してほしい。

→(教育部局) 全部議事録にすると長くなるため、議事録については概要版で対応させていただきたいと思うがいかがか。

→(委員) 正確に記載されているのであれば良いが、内容によっては、自分の意見なり質問が意に沿わないようなことであれば問題かと思う。そういうところを上手く配慮しないと、真剣に意見を述べても意味が無かったという結論に陥るので、配慮していただきたい。

→(教育部局) 承知した。

(6) 事務局からの説明及び会議日程についての意見や要望等及びこれからの協議について「図書館本館の施設について、現施設を維持か？移転か？この一点）の意見等（下線部が市側の回答）

ア 移転か現状維持かという結論は、前回も出たように早過ぎる。まだ話したいことがあるので、待ってほしい。私としては、12月26日のフリートークは無理だと思うので、これまで色々話し合った質問で答えていないものを答える場にしてほしい。そうすることにより、次にステップアップ出来ると思う。

→(教育部局) 答えていない質問とは、具体的にどのようなものであるか。

→(委員) アーニスの答えが出ていない。アンケートをとったらどうかとか、新館構想や構造、耐荷重の問題などに対して答えが出ていない。他は、今思い出せない。

→(委員長) 今までの図書館を考える会や従来の市民の図書館をどうするかという運動の中で、もうすぐ基本構想に手が届くようなところまでいったと思うが、具現化できない部分がずっと足踏みし、こういう状況になっているのではと思う。その辺の整備基本構想の部分をないがしろにしないで、そこを含めて移転の構想がどうなのか。今事務局から出てきている「めざすもの」をしっかり考え、基本的に、図書館の持つ豊かさ、そういったものについての話し合いがついて回らないといけないと思う。

→(委員) 「めざすもの」にふさわしい内容の話し合いを。これは、私達が求めることも勿論あるが、基本構想のような具体的なものがなければ議論出来ない。ちゃんと構想立てて出してください。新築か移転に問わず、構想を先に出すものだと言った。構想を後で作るやり方で良いのかどうか、不信感がつる。

→(教育部局) 基本構想を先に立てるという話だが、他のまちでは、まず図

書館をどうするか決まっているのではないか。建てるから基本構想を作るということだと思う。登別市はどうか決まっていない状態で、先に基本構想を議論しても結局その実現性の部分があるので、どういう方向で、どういう整備をするのかまず決めた上で構想を作る考え方に立っていることをご理解いただきたい。

→（委員）例えばアーニス移転の案が出ているなら、その20年間の図書館運営をどう考えているか当然出てきているはずである。それも示されていないが、当然あるべきである。建物のことと図書館を移転後どう運営していくか、これなしには私達は決めることは出来ないし、結果について絶対発言出来ない。

イ フリーディスカッションをするにしても、今までの振り返りを行わないと話が進まないと思うので、先程提言したとおり議事録を整備し、今回分まで全員に配布して欲しい。

→（委員）仕事が雑で、省略し過ぎである。自分が発言したことも忘れることもあるので、議事録は省略し過ぎないでほしい。

→（委員）議事録は単純にチャットGPTを使えば良いのでは。誤字脱字はチェックしてもらえば良い話で、普通にアプリで出来ると思う。委員でも質問した内容を忘れると話があった。議事録を見ても省略され、何の質問をしているのかどの質問が聞けたのかわからない。膨大な量であっても、省略せず普通の議事録が欲しい。

→（教育部局）議事録をまとめ、会議資料としてお配りする。

ウ （委員長から）現状の図書館の説明については、これ終わってよいか。

→（委員）良いとの声あり

エ （委員長から）12月14日の図書館ツアー及び12月26日の第5回目についてご意見等あるか。

→（委員）先程言ったとおり、26日は各委員が色々意見を述べたことに対し、答えていない部分を行政が説明する場にしてほしい。

→（委員長）そういう機会にもきつとなる。事務局も含んでいただきたいと思うがよろしいか。

→（委員）こういう検討会議等は、私達が主体的に話し合っ、行政に問われたことに答える役割だと思うが、今聞いてばかりでまだ本質的な議論を一度も進めてないように思う。他の委員が言うように、本来の在り方をもっと議論してからこの話があった方が良いというのは当然だと思う。一つの参考として、会議の進め方を、共有、拡散、収束、決定というプロセスを経ていくのが望ましいと言われている。何について話し合っているかというのが共有。拡散が、26日のフリートークになってくると思う。たくさんの意見を私達が出し合っ、グルーピングしていった中で、最終的に収束し合意形成を作っていく。今ずっと対立の関係で、会議が進まないと思う。議事録があるべきだという意見は正しいと思うが、細かな意見は事前に委員長か事務局に届けておいたら、本質的な議論に使える時間が増えると思う。なんとかそこを変えないと、ずっと同

じになると思う。

→（委員長）今回の事務局提案では、26日にフリートークで委員が自由に話し合う機会を持つとなっている。

→（委員）まだ「共有」がされていないので、何について皆で話をするのか定まっていない。課題が掛け違っている。私は、整備についての検討委員会だと思っているが、違う視点でものを言われている委員もいる。これを一つなり二つに絞らないと、フリートークにならない。

→（委員）この会議が進まないのは、ハード面とソフト面が一緒になっているからではないか。ハード面について建物では、雨漏りや家賃等の方向になり、ソフト面では図書館の理想論を話したりと混ざっている。私は次回、基本構想を話したい。どんな図書館が良いか言い合い図書館の理想を出して、一端それが机上の空論でも良いのではと思う。基本のどんな図書館を作りたいというのを話させてほしい。その中で、必要な物や環境など分かると思う。

→（委員長）確かにそれは大切だが、ハード面と基本構想は深く結びついていると思う。

オ （これまでの意見に対して教育部局より）

（アの意見に対して）委員がおっしゃることも理解している。我々がまずアーニスと先に打ち出したばかりに、皆様が不信感を持っていることも理解している。今のままで良いのかどうか。これに絞って次は皆様のご意見を聞きたいと思う。今のままではどうかと我々は思っているし、最初にご説明した「めざすもの」というある程度のゴールは考えているので、それを実現するために今のままで良いのかという点に絞り次回はお話いただきたいと思う。その後、今のままで良いとなれば図書館で出来ることは何か、移転となれば移転先と次のステップに移ると考えている。まずは次回、皆様の意見を本当に私達聞きたいと思っている。

カ （オに対して）

- a 全容が分からないと、移転か現状維持か答えを出せない。最初は市民の懇談会で現状図書館にある本は全部引越が出来ると話していたが、最近の資料では入らないかもしれないとなってる。そもそも全員の委員が、今の図書館関連の施設の運営や場所について知ってはいないと思う。閉鎖書庫の管理や、今後人口減少が進んでいく中、限られたパイの中で財産である本をどうしていくのか。散逸するほど管理が難しくなる。アーニスですっかり入りきらない中途半端な移転をして果たしてどうなのか。旧教職員住宅に閉鎖書庫が入っていること聞いたが、廃棄の本に限らず必要な本もあると聞いている。図書館全体を、この本の管理も含めてどうするのかという基礎情報が足りない。
- b アーニスの民間施設の耐荷重はどうなのか。構造力学という考え方で、フロアーの一方に負荷が過大にかけると、建物自体に負担がかかると話を聞いた。移転先の候補に民間施設もあるので、全ての情報がなければ無責任に話が出来ない。
- c 事務事業評価など見ると、やった行事の羅列ばかりで、この「めざすもの」が

どこまで実現されているのかくみ取りづらい。そのへんも分かるようにしていただかないと、皆で議論は難しいかと思う。

キ 初回から会議が全く進んでない。色々話が出てるが、皆さん重箱の隅を突くような話が多いのではないか。その前に、重箱をどうするか話さないといけないのではと思う。現状の施設が老朽化している。今後使えるのかどうか判断をまず行い、使えないのなら新築か移転というようなステップで話していかないと駄目だと思う。

ク 現状では駄目だというのは皆さん自明かと思うが、次どうするかが難しく正直判断できない。この委員会で決めることなのかと疑問を感じる。初回到市の財政状況の話があり、図書館がこうしたいというだけで決めては駄目ではないかという気持ちでもある。私を感じるのは、市にビジョンがないというのが問題なのではと思う。図書館本館の老朽化の説明があったが、市役所本庁舎建設の大型事業をやる前に、こういうのは出すべきだったのではと感じる。近隣の市では学校の建替えが進んでいる中、登別は中々なく、改修すら出来ないくらいになってやっと建替えた状況だと思うので、本当にビジョンないというのを残念だと感じている。まずは、そういう部分のビジョンをしっかりと作って欲しいというのは市に対して要望したいところである。教育では、近隣で小規模特認校というのが設置されているが、登別だけない。そういう現状もどうかと市の教育行政に対して思うところもあるし、やはり全体のビジョンがないから今ぐちゃぐちゃになってる。教育委員会から上に対して意見していくくらいの姿勢を持った方が良いのではと感じる。

ケ 図書館に関して皆さん知識があるわけではないので、その中で議論するのでかみ合わないのは当たり前である。13年間市民から要求がなかったという話が行政からあったのが引かかる。市民から要求がなければ、図書館から何かやってきたのか。この現状を私達に説明する前に、行政内部でいつ建つのかと要求したことがあるのか。

→(教育部局) 25年前の21人委員会の図書館構想の後に一度図書館の建替案が出たこともあるが、補助金が出なくてその案を出せなかったこともあった。図書館のエレベーターの案などずっと出てはきているが、その度に財政問題があり、図書館に手が回ってこなかったのが現実である。今回、まちづくり協議会からの提言により補助金が獲得できそうであり、やっと現実味を帯びてきた。補助金があればどうしても手が出なく、安心・安全の部分を先にやってきたのが現実であり、図書館については後回しになってきたのは申し訳なかったと思うが、今、アーニスに移転するのであればという前提条件が付くが、出来る算段が付いている。いずれは建替えたい願いであるが、やはり20年以上は難しい。その間この施設を維持するのか、アーニスなら出来そうだと現実味があるが、アーニスを入れるかは別にしても、別の場所で考えるのかという現状維持か移転かという一点で今回はもう少し皆様のご意見をお聞かせいただきたい。

コ まちづくりの協議会からの提案と言うが、教育委員会は市長部局と分離された独立機関である。図書館協議会でここ数年間で図書館にかかわる協議がされたので

あれば、議事録が欲しい。

→ (教育部局) 図書館整備に関する話についてか。

→ (委員) 今後の図書館運営に関する話し合いとかでも良いので、あれば参考資料としたい。

→ (教育部局) さかのぼって調べてみる。

- サ 市内の校長会の全体の代表として、今回のこのテーマだけについて校長会の総意としては、働いている人、あと様々な人の利便性、サードプレイスというようなことを考えた時に、現状維持というのは考えにくいのではというのが総意としてあるのは事実である。僕らも話し合い自体を持っているので、次回詳しく紹介させていただきたい。フリーディスカッションの方が話しやすいとは思いますが、事務局のやり方にまかせたいと思う。

3 閉会

- ア (委員長) 先日議会を傍聴したが、議員で都城の視察で他の施設と併設された図書館を視察されたとのことで、その報告を事務局として皆さんに配布してほしいというお願いをした。26日には、アーニス案と絡めて協議出来るのではと思う。
- イ (委員) 個人的に疑問や質問をまとめたので、出させてもらえるか。私は26日は、行政に質問した答えを回答する場にしてほしいと言ったのは、どうなったのか。もう少しきちんとまとめてもらわないと、いつも結論の出ない会議をやるのか。こういう会議では、今後何を望んで良いか分からない。
- (委員長) 26日に皆さんにプリントして配布するとかで了解いただきたい。
- (教育部局) 質問をまとめているということなので、事務局にください。
- (委員長) 資料は、事務局からも委員からも出るということで。一方的に事務局からの資料に、我々が討議するのではないということで。

以上